

要請番号 (NJ30916B30)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブラジル	G251 日系日本語学校教師		日系	交替 6代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

汎スザノ文化体育農事協会

2) 配属機関名 (日本語)

スザノ日伯学園
日系社会

3) 任地 (サンパウロ州スザノ市) JICA事務所の所在地 (サンパウロ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

汎スザノ文化体育農事協会は、地域の交流を目的にテニス大会、運動会、カラオケ大会、卓球大会、絵画教室、剣道リーグ大会、敬老会などを実施している。今年予定されている予算は1億9千万米ドル。スザノ日伯学園は小中一貫校で、全生徒数は501名、日本語学習生徒は200名の大規模校である。午前がブラジル教育課程による授業、午後は選択授業(日本語、英語、サッカー、太鼓、テニス、補習授業など)を実施している。また開校前にJICAよりパソコンや学習机を供与している。同協会へはこれまで、野球職種1名、小学校教諭3名、日系日本語学校教師2名(うち、1名が活動中)の派遣実績あり。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2016年、設立10周年を迎えた同校では、世代交代が進み、日本語話者が少なくなっている。これまで、日本語指導は複式学級で進められていたが、能力の向上が十分図れず、NJVと現地教師の協力のもと単式授業を開始した。単式教育を継続するためにはNJVによる現地教師への日本語教授法の導入が不可欠である。また他科目の教員や職員から「日本語を学びたい」という声もあり、NJVと日本語授業を計画している。勤務体系の問題で現地教師による授業の実施が難しく、この点でもNJVの存在が大切な役割を果たしており、本要請が挙げられた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 主に上級クラスを巡回し、会話の指導、授業の補佐にあたる。
- 現地教師に協力し、授業計画を立て、現地教師の指導技術向上を図る。
- 絵カードや文字カードなどの教材を充実させる。
- 日本語を母語とする生徒のクラスを担当し、漢字・読解・作文指導をする。
- 他科目の教員に日本語の授業を行う。
- 協会や地域のイベントへ参加・支援。
- スザノ市日本語教師会への参加。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プロジェクター、音楽プレイヤー、スピーカー、マイクなど。教材:「ひらがなオリジナルアポルチーラ」の幼児用と3年児童用、「こどもの日本語」。上級生は「みんなの日本語」の改変版を使用。

4) 配属先同僚及び活動対象者

コーディネーター1名、現地教師4名(経験20年、10年、1年、1年)、音楽教師1名、書道講師1名(外部講師)。
指導対象の情報:日本語学習生徒200名(6～14歳)その200名の中には日本語母語話者3名がいる。職員は20名いる。

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
ポルトガル語	ポルトガル語	

【資格条件等】

[免許]：(日本語教授法)	[学歴]：()	備考：	
[性別]：()	備考：	[経験]：()	備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(西岸海洋性気候)	気温：(5～35℃位)	[電気]：(安定)
[通信]：(インターネット可)	電話可)	[水道]：(安定)

【特記事項】